

報告第 28 号

令和 4 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに
決算の報告について

地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 4 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに決算について、別紙のとおり報告する。

令和 5 年 9 月 14 日提出

宇治市長 松 村 淳 子



5公財宇野活第69号

令和5年6月30日

宇治市長 松村 淳子 様

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉本厚夫



令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告および決算報告について

令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告および決算報告に
ついて、別紙のとおり承認されましたので報告します。

議案第1号

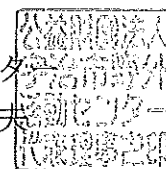
令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について

令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について、別紙
のとおり承認を求める。

令和5年6月25日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉本厚夫



令和4年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告書

令和4年度 公益財団法人宇治市野外活動センター 事業報告書

1. 年度総括

令和3年度に公募により実施された指定管理者選定を経て、令和4年度からの5年間、指定管理者として引き続きセンター運営を受託することが決定した。

当法人はお客様がアクトパルを創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の3つのミッションを柱とした事業を展開した。

○豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。

○自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。

○地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度より新たに「利用料金制度」が導入されたが、これをより自立した経営力を発揮するチャンスととらえ、お客様のニーズに合わせたテントエリアの拡大や予約不要工作イベントの開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や人員配置の見直し等、必要経費の削減にも努めた。また、お客様の利便性を高めるため施設ホームページのリニューアルや、電子マネー・クレジットカード等のキャッシュレス決済を導入した。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売、新型コロナウイルス感染症対策等、必要に応じて協議の場を設けた。

令和4年度も影響の続いた新型コロナウイルス感染症についても、職員やお客様の健康チェックや各所の消毒など日常的な対策の徹底をはじめ、京都府の「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」等を参考に施設の感染予防対策を講じ、感染者が発生した場合も保健所や自治体と連携を図り適切に対応した。また、京都府の「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」に参加し、利用の促進を図った。

8月には開所以来の累計利用者200万人を達成した。記念式典は台風のため中止となったが、後日「200万人達成記念抽選会」を実施した。

年間利用者数は77,849人と前年度比で約7割増加したが、上半期の繁忙期に新型コロナウイルス感染流行期が重なったことによるキャンセルなどの影響で、利用料金収入が当初予算比で約850万円減少した。一方、全国旅行支援による利用料金割引相当額約92万円を地方公共団体補助金収入として計上している。

また、社会情勢の影響により電気料金も大きく値上がりし、当初予算比で約220万円の支出増となった。

これらの予想されていなかった不可抗力要因が収支に大きな影響を与えることになったため、リ

スク分担にかかる宇治市との協議の結果、令和4年度は指定管理料を約390万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

2-1. 公益目的事業

(1) 活動支援事業

お客様が施設を利用されるにあたり円滑に活動できるよう、天体観察プログラムを案内する天文ボランティアの調整や、創作活動の補助、農業体験の実施調整等の支援を行った。

また、より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動等に関する最新情報の収集を行った。

(支援の例) 天体観察での天文プログラムの実施、陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言、農業体験やふるさと体験等の実施

(2) 野外活動奨励事業

気軽に野外活動に親しめる機会を提供するために予約不要のイベントを開催し、幅広い層に宇治市総合野外活動センターの利用が促進されることを目指した。

「春のひろば」「秋のひろば」「アクトパルであそぼう」等の施設全体を使ったイベントで宇治市総合野外活動センターのPRを図り、利用の減少する冬期には「体育館であそぼう」「わいわいホリデー」等集客につながるイベントや、天体望遠鏡での星空観察イベント「星空オープナー」を開催した。

新たに予約不要で利用できる工作イベントとして「つくってあそぼう」(コマ、万華鏡、たたき染め等)を実施した。

新型コロナウイルス感染防止対策として、一部イベント内容を縮小した。また、感染発生の際に追跡できるよう、受付で参加者の連絡先を記帳いただいた。

(3) 活動体験事業

丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、定員を設けた有料イベントを企画・実施し、生涯学習の推進を図った。

新型コロナウイルス感染防止対策として、募集定員を6割程度に縮小、施設利用時の参加者同士の距離確保、プログラムを短時間化、参加家族同士の交流も避け、感染発覚時に参加者の追跡ができるようにした。イベント時は検温・体調確認・手洗い・消毒・マスクの着用・ソーシャルディスタンス確保を徹底した。

農業や自然等、笠取地域の特色を生かした事業を開催し、地域の魅力を体験してもらうとともに地域住民との交流の機会を設けた。「お茶つみ&製茶体験」「田んぼ体験」「ふるさとを味わおう」「椎茸の菌打ち体験」「いもほり&クッキング」「冬のぼかぼかハイキング」等

外部講師や大学生ボランティア等と連携し、より専門的なプログラムを体験する事業を実施した。「陶芸教室」「冬の木工教室」「ちびっこキャンプ」

事業後にアンケートを実施し、お客様の声を事業運営に反映した。

各事業の実施にあたり、SDGs目標「3:すべての人に健康と福祉を」や「4:質の高い教育をみんなに」等のSDGsの理念を取り込んだ事業を展開し、SDGsの取組みを広め、周知に努めた。

(4) その他自主事業

- ・食堂売店運営を有限会社笠取ファームに委託

食堂では地元笠取産の米を使用した食事を提供した。

売店で「春のひろば」「秋のひろば」「新春笠取市」等で野菜や特産物の販売を実施した。

食堂新メニューとして「牛丼」「冷やしうどん」を販売した。

鍋焼きうどんとグラウンドゴルフをセットにした割引プランを提供した。

- ・出張工作教室の実施

公民館や生涯学習センターでのイベントに出展し、施設外で予約不要の工作プログラムを提供した。

(5) 宇治市総合野外活動センター管理運営事業

宇治市総合野外活動センターの管理運営について、宇治市より指定管理者として指定され、施設の管理運営業務を行った。

令和4年度前半は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による予約キャンセルが相次いだり、10月以降徐々に利用が回復し、年間利用者数は前年度比で約7割増となる77,849人となった。8月には開所以来の累計利用者数が200万人に到達した。

《宿泊利用者数》24,655人 《日帰り利用者数》53,194人 《総利用者数》77,849人

各種契約内容の見直しと、当初見込みよりも宿泊客が減少したことに対応して、人員構成の見直し、効率化をすすめた結果、当初予算より約620万円の経費を削減した。一方で落雷事故の改修等で修繕費が当初予算より約150万円の増額となった。

また電気料金がロシアのウクライナ侵攻等の社会情勢の変化による影響で高騰し、節電に努めたものの当初予算額より約220万円の増額となった。

利用料金収入については、上半期の繁忙期に新型コロナウイルス感染症の流行期が重なったことによるキャンセルなどの影響で、当初予算比で約850万円減少した。一方、全国旅行支援による利用料金割引相当額約92万円を地方公共団体補助金収入として計上している。

電気料金の高騰とコロナ禍という予想されていなかった影響について、リスク分担にかかる宇治市との協議の結果、約390万指定管理料を増額する形で変更協定を締結した。

【主な取り組み】

○新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染防止対策として一部の施設や備品類の利用を制限した。

利用者には手指消毒・手洗い・うがい・マスクの着用・ソーシャルディスタンスの確保・屋内での換気に協力を依頼した。

○テントエリアの拡大

フリーテントサイトの需要拡大に対応し、従来の2区画から4区画にエリアを拡大した。

○ホームページのリニューアル

ホームページのデザインを一新し、お客様が必要な情報にアクセスしやすいページに改善した。あわせてサーバー契約も見直し、経費の削減につなげた。

○キャッシュレス決済の導入

現金以外の支払い方法に対応するため決済システム（Air ペイ）を導入し、各種クレジットカード、電子マネー、QR コードで支払えるようになりお客様の利便性向上を図るとともに、現金徴収、精算事務の短縮等、業務効率の向上につなげた。あわせてレジアプリも導入し受付事務の効率化を図った。

令和4年9月の導入以降、各種キャッシュレス決済の利用割合は27%であった。

○有限会社笠取ファームとの協力体制

植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。

日常的な課題や食堂、売店の改善に向けた取り組みについて、毎月定例会議を実施した。

地元笠取地域の野菜や特産品を販売する「笠取市」の開催や、農業体験、ふるさと体験イベントに協力し、お客様と地域住民との交流の場を提供した。

○宇治市との連携

宇治市教育委員会の担当部署である生涯学習課と月1回の定例会議を開き、施設の最新状況や修繕計画等について協議し、連携を密にした。

○えほんの森整備

宇治市教育委員会の読書推進活動との連携事業として、管理棟ホール図書コーナーに新たに幼児向け絵本コーナー「えほんの森」を設けた。

○学校利用の調整

宇治市内をはじめとする小学校林間学習の日程調整や合同施設説明会を実施し、効率よく施設をご利用いただけるよう努めた。

○各種修繕工事の実施

7月に発生した落雷事故により自動火災通報設備、電話機、各種メーター、非常呼出し装置等、電子機器が複数故障した。随時修繕にあたったが、自動火災通報設備の復旧までの間、宿直の増員や夜間巡回点検を増やす等、安全対策を実施した。

○情報発信

SNS（Instagram、Twitter、Facebook）を毎日更新し、施設の情報発信に努めた。

メールインフォメーション登録者にイベント情報等を発信した。

○図書館との連携

宇治市立図書館と連携し、笠取地域の利便性向上につなげるため、新たな予約図書受取所としてアクトパル宇治で配本サービスを開始した。

2-2. 収益事業

宇治市総合野外活動センターの運営において、体験活動や学校教育活動などを目的としない宿泊施設のみの利用や企業の研修利用なども受け入れた。

3. 積立事業










工作棟において開設当初から使用している電気陶芸窯の老朽化が進んでおり、人気の高い陶芸プログラムのサービスを維持するため令和5年度に新たな陶芸窯を取得する目的で、工作棟の陶芸窯を購入する費用として令和元年度から170万円を限度額として積み立てを実施し、令和4年度で満額を積み立てた。

野外活動奨励事業・活動体験事業 事業一覧





公益目的を達成するために、野外活動はもちろん陶芸をはじめとした工作棟での製作や大小の天体望遠鏡を活用した天体観察など、さまざまなジャンルで年間約50のイベントを実施した。

感染症対策を徹底して事業を実施し、野外活動奨励事業ではイベント出店者を減じ、活動体験事業では定員をコロナ禍前の6割程度、短時間での実施とするなどいわゆる三密回避に努めた。












◎野外活動奨励事業 (6,314人)













開催日	事業名	内容	SDGs 目標
令和4年 4月3日(日)～	つくってあそぼう! (全19回)	参加費無料・予約不要でできる工作イベントを他イベントの無い日曜・祝日を利用し、気軽に工作を楽しめる機会を提供した。 《参加者 全19回 計185人》	
4月8日(金)	春のグラウンド・ゴルフの日&講習会	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、初心者向け講習会を開催することで、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者 57人》	
4月10日(日)	春のひろば (例年は春まつり)	桜が見ごろの時期に地元特産品の販売や市民グループ・障害者施設の出店を行うことで、市民が自然に親しむ機会を創出し、地域振興・交流の機会につなげた。 《参加者 1,163人》	
5月3日(火・祝)～	クイズラリー (全15回)	アクトパルを散策しながら季節にちなんだクイズに答えて、施設を楽しく巡る機会を創出した。 《参加者 全15回 計103人》	 
6月5日(日)	アクトパルであそぼう!	新緑の時期にクイズラリー、じゃがいも収穫体験、工作などの自然豊かな施設の特徴を生かした多彩なイベントを実施することによって、市民が自然に親しむ機会を創出した。 《参加者 787人》	 
6月11日(土)中止 6月18日(土) 6月25日(土)	ホタル観察の日 (全2回)	笠取川に生息するホタルの生態を学びながら自然保護の啓発につなげた。またこの時期にしか見られない笠取の自然観察に親しむ機会を創出した。 《参加者 全2回 計657人》	 













開催日	事業名	内 容	SDGs 目標
8月11日(木・祝)	山であそぼう!	山の日にちなんで、川の生物調査、標本展示、工作などを実施し、山の自然を身近に感じてもらう機会にした。 《参加者 498人》	
9月2日(金)	秋のグラウンド・ゴルフの日&講習会	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、初心者向け講習会を開催することで、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者 34人》	
9月19日(月・祝)中止	ご来場者200万人達成記念 お客様感謝デー	記念式典の後、感謝企画として抽選会や野菜市、スポーツ広場等を催し、アクトパルにより親しんでもらう機会とする予定だったが、台風接近のため中止とした。	
10月10日(月・祝)	秋のひろば (例年は秋まつり)	(有)笠取ファーム、笠取小学校と共催し、地元特産品の販売や市民グループ・障害者施設の出店、地域の活動紹介を行うことで、地域振興・交流の場を創出した。 《参加者 941人》	
10月30日(日)	ハロウィンをたのしもう!	ハロウィンの時期に合わせて、クイズラリーや仮装ショーなどを通じて風習の楽しさを味わった。 また、えほんの森オープン記念に合わせて絵本読み聞かせ会を催した。 《参加者 497人》	
11月8日(火)	特別観察会「皆既月食をみよう!」	施設内の望遠鏡などの天体観察設備の特徴を生かして皆既月食を観察した。また、天文ボランティアの活動の場を創出した。 《参加者 41人》	
12月～ 令和5年2月 (毎週日曜・祝日)	わいわいホリデー (全15回)	ゆったり過ごしてもらえる室内で、季節にちなんだ楽しい企画を盛り込み、利用促進の広報活動と冬場での楽しさを提供した。 《参加者 全15回 853人》	
12月11日(日) 令和5年 1月7日(土) 1月8日(日) 2月19日(日)	体育館であそぼう (全4回)	体育館を無料開放して、冬でもスポーツを楽しめる場を提供した。また、アクトパルの体育館を知ってもらう機会にした。 《参加者 全4回 240人》	












開催日	事業名	内 容	SDGs 目標
1月～2月 (毎週土曜日)	笠取交湯会 (全8回)	笠取地域の住民を対象に大浴場を開放することにより、交流の場を提供し、地域との結びつきを深めた。 《参加者 全8回 79人》	
1月7日(土) 1月8日(日) 1月9日(月・祝)	新春笠取市 (全3回)	笠取地元産野菜の販売を始め、陶器市や、豚汁・つきたて餅の販売などで新春の笠取の魅力を発信した。 《参加者 全3回 112人》	 
1月21日(土) 2月25日(土)	星空オープンデー (全2回)	施設内の望遠鏡などの天体観察設備の特徴を生かし、星空に関心を持ってもらった。また、天文ボランティアの活動の場を創出した。 《参加者 全2回 67人》	

◎活動体験事業 (2, 151 人)

開催日	事業名	内容	SDGs 目標
令和 4 年 4 月 23 日 (土) 6 月 18 日 (土)	令和 3 年度続き 畑体験 ～玉ねぎとじゃがい もの収穫～	地元農家の協力により、畑での植え付けと 収穫の両方を経験した。自分で植えた苗が 育ち、春を迎えて収穫、さらに調理するこ とで食べ物を大切にする心の醸成につな げた。①玉ねぎ、②じゃがいも 《定員 50 人 参加①47 人 ②29 人》	 
4 月 17 日 (日)	春の野草探しとヨモ ギだんごづくり	施設内での野草摘みを通じて、食用にでき る植物を知り、摘んだヨモギを材料にした だんごを調理して食育の一助とした。 《定員 24 人 参加 24 人》	 
田植え 5 月 7 日 (土) 5 月 8 日 (日) 稲刈り 9 月 3 日 (土) 9 月 4 日 (日) (2 グループ制)	田んぼ体験 ～田植え&稲刈り～	地元農家の協力により、田んぼで田植えと 稲刈りの両方を経験した。自分で植えた稲 苗が田んぼで育つのを観察し、稲穂が垂れ たタイミングで稲刈りをするこ とで、自然の恵みを体感し食べ物を大切にする心の 醸成につなげた。 《定員各 40 人 参加延べ人数 150 人》	 
5 月 14 日 (土) 5 月 15 日 (日)	お茶つみ&製茶体験	施設内の茶畑での茶摘み・製茶体験とお茶 の試飲、お茶のお話など通じて宇治の代表 的な産品である茶のことをよく知っても らう機会にした。 《定員各 24 人 参加①17 人 ②24 人》	 
5 月 28 日 (土) 5 月 29 日 (日)	バウムクーヘンをつ くろう!	野外でのバウムクーヘン作りに挑戦する ことによって、アウトドアの料理の奥深さ に触れるとともに、家族で協力し、作り上 げることでコミュニケーションを深める 機会にした。 《定員各 36 人 参加①38 人 ②37 人》	
6 月 12 日 (日) (2 回開催)	陶芸教室～入門編～	陶芸をはじめたい人のために初心者向け の教室を開催し、陶芸に親しんでもらうと ともにより上級の作品に取り組むことが できるように案内した。 《定員各 24 人 参加①18 人 ②19 人》	
6 月 25 日 (土) 6 月 26 日 (日) (4 回開催)	掘りたてを味わお う!じゃがいも畑の くいしん坊	(有)笠取ファーム所有の畑でじゃがいも 掘りを体験し、掘りたてのいもをその場で 調理して試食し、農業体験の楽しさを知る 機会とした。 《定員各 24 人参加①26 人 ②11 人 ③21 人 ④10 人》	 



開催日	事業名	内容	SDGs 目標
7月16日(土) 7月17日(日) 7月18日(月・祝)	流しそうめんセット をつくろう!	家族で協力し、竹で流しそうめんの台や食器づくりをすることでモノづくりの楽しさを共有し、家族の絆を深める機会とした。 《定員各24人 ①22人 ②21人 ③23人》	
7月23日(土)	虫ムシ大作戦	虫捕りや観察を通じて身近な自然に親しみ、豊かな生態系を守ることの大切さを学んだ。 《定員24人 参加29人》	 
7月24日(日)	藍染をたのしもう!	アクトパルで育てた藍の乾燥葉を利用し、藍染講師の指導で、ハンカチや綿素材のものに模様をつける藍染の実技を通じて伝統工芸について学ぶ機会とした。 《定員24人 参加13人》	 
8月7日(日) (2回開催)	夏休み親子工作デー	夏休みに親子が協力して木工作品作りに取り組むことにより、親子の協力関係を築くきっかけづくりを行うとともに、講師の指導で工作道具の正しい使い方なども学び、モノづくりの楽しさを体感いただいた。 《定員24人 参加①13人 ②11人》	
8月27日(土) ~28日(日)	家族 de キャンプ	キャンプ経験のない家族が気軽に参加できて、普段と違った環境の中での家族内のコミュニケーションづくり、キャンプやアウトドアに親しむ契機となることを目指した。 《定員24人 参加23人》	 
9月10日(土) 9月11日(日)	アウトドアクッキング	地元のイタリア料理店のシェフに生地づくりから教わる窯焼きピザづくりを体験することを通じて、アウトドアでの料理を楽しむ、食育につなげた。 《定員各24人 参加①22人 ②23人》	 
10月2日(日) 中止	ちびっこアウトドア	初対面のこども達が協力して野外炊飯・工作等を行うことで交流を図るとともに野外活動の場を創出し、学生ボランティアをリーダーにすることで学生が野外活動の指導力を習得する機会とする予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	 

開催日	事業名	内 容	SDGs 目標
10月22日(土) 10月23日(日)	いもほり&クッキング	畑でさつまいもを収穫した後、とれたてのさつまいもを使って炊事棟で簡単なお菓子類を作ることでアウトドアでの料理を楽しみ、食育につなげた。 《定員各24人 参加①21人 ②24人》	 
11月5日(土) 令和5年 3月5日(日)	畑体験 ～玉ねぎの苗と種いもの植え付け～	地元農家の協力により、畑での植え付けと収穫の両方を経験する。自分で植えた苗が育ち、春を迎えて収穫、さらに調理することで食べ物を大切にする心の醸成につなげた。(収穫は令和5年4月と6月に予定) 《定員50人 参加延べ人数44人》	 
11月6日(日) (2回開催)	燻製をたのしもう!	簡単な方法で、肉をはじめ意外な食材を燻製することによって、野外ならではのクッキングを身近に感じてもらえる機会とした。また、燻製の技法を知ることで無駄のない食材の消費を考える機会とした。 《定員各24人 参加①19人 ②16人》	 
11月13日(日)	おそとで楽しむ そば打ち体験	野外炊事棟でそば打ちを体験することでそば打ちを身近に感じ、ふるさとの食文化や手作りの楽しさを体感する機会とした。 《定員20人 参加20人》	 
11月19日(土) 11月20日(日)	ふるさとを味わおう	ひき臼を使ったきなこづくり、杵と臼を使ったもちつきを通して、地域に伝わる昔の道具の使い方や食べ物の文化に触れたり、大根を引いてその場(畑)で調理し、味わうことで農業の楽しさを体験いただいた。 《定員各24人 参加①21人 ②24人》	 
11月23日(水・祝) 中止	秋のピクニック	紅葉を楽しみながら施設周辺の里山を歩き、樹木の説明などで自然との接し方を学んだり、落ち葉焚きで笠取産の焼きいもを味わい、アクトパルの魅力を体感してもらう予定だったが雨天のため中止した。	 



開催日	事業名	内 容	SDGs 目標
12月4日(日) (2回開催)	クリスマスリースづくり	施設周辺の植物など自然の素材を生かしたオリジナルのリースづくりを通して、豊かな自然やモノづくりの楽しさ、クリスマスリースの由来を知ってもらった。 《定員各24人 参加①14人 ②15人》	
12月11日(日) (2回開催)	ダッチオープンでケーキをつくろう!	クリスマスの時期に合わせて、野外炊事の道具を使ってのケーキづくりや、施設内のゆずを使ったゆずジャムづくりを行うことで、アウトドアでのクリスマスを楽しんでもらった。 《定員各24人 参加①21人 ②16人》	
12月18日(日)	アクトパル de サバイバル	初心者向けの火起こしや野外炊事、冬キャンプレクチャーなどアウトドア体験を通じて、身近な自然に親しむきっかけづくりを催した。 《定員24人 参加19人》	 
12月24日(土) 12月25日(日)	ミニ門松・鏡もちづくり&もちつき	迎春準備としてのミニ門松づくりともちつきからのミニ鏡もちづくりを体験することで、古くから受け継がれている伝統や風習に親しんだ。 《定員各24人 参加①17人 ②24人》	 
令和5年 1月9日(月・祝) (2回開催)	陶器のランタンづくり	切り絵象嵌の技法を用いて筒状のランタンを作り、陶芸の楽しさに触れてもらった。 《定員各24人 参加①18人 ②15人》	
1月15日(日)	冬のぽかぽかハイキング	笠取の旧跡を巡りながら里山を歩き、冬ならではの笠取の自然を体感するとともに、地元農家の椎茸栽培の見学など笠取の農産品を知ってもらい地元との交流も図った。 《定員24人 参加15人》	 
1月22日(日)	冬のアウトドアクッキング	冬ならではの温かい料理をダッチオープンを使って家族が協力して作って食べることで、家族の絆を深める場を提供するとともに、冬のアウトドアの楽しみ方を知りきっかけとした。 《定員24人 参加21人》	 

開催日	事業名	内 容	SDGs 目標
2月11日(土・祝) (2回開催)	陶芸教室～入門編～	コロナ対策のため電動ろくろを使わない入門編に変更した。初心者向けの土ひねりで、陶芸に親しんでもらうとともに、より難易度の高い作品に取り組むことができるように案内した。 《定員各24人 参加①18人 ②19人》	
2月12日(日)	椎茸の菌打ち体験	地元農家を講師に招き、椎茸の菌うちやほだ木の育て方を学ぶことを通じて笠取の農業・特産品を知るきっかけにした。 《定員24人 参加28人》	 
2月19日(日) 2月23日(木・祝)	手打ちうどん教室	うどん打ちの講師による笠取の名水を使ったうどん作りを通じてふるさとの食文化や手作りの良さを学んだ。 《定員各24人 参加①16人 ②21人》	 
2月25日(土) ～26日(日)	冬の木工教室	2日間かけて本格的な木工作业に取り組むとともに、木工を楽しむ市民グループを講師に招き、活動の場を創出した。 《定員24人 参加16人》	
3月18日(土) ～19日(日)	ちびっこキャンプ	初対面の子ども達が協力して野外炊飯・工作等を行い交流する中で野外活動の場を創出した。また、学生ボランティアをリーダーにすることで学生が野外活動の指導力を習得する機会とした。 《定員20人 参加19人》	 
3月26日(日)	BBQをたのしもう!	家族で野外BBQを楽しめるよう、野外炊飯の基本やコツなど実践を通じて習得する機会とした。 《定員24人 参加15人》	

◎活動体験事業（単発事業を複数回実施）

開催日	事業名	内容	SDGs 目標
令和4年 ① 4月23日（土） ② 6月4日（土） ③ 7月2日（土） ④ 9月10日（土） ⑤ 10月1日（土） ⑥ 11月3日（木・祝） ⑦ 11月26日（土） ⑧ 12月17日（土） ～18日（日） 令和5年 ⑨ 3月12日（日）	天文教室 「春の星座と星座ジグソーパズル」 「ブラックホールについて知ろう」 「七夕の星&プラネタリウム体験」 「中秋の名月と月見団子づくり」 「星の立体地図をつくろう」 「使いやすい手作り天体望遠鏡をつくろう」 「接近する火星と惑星について知ろう」 「わくわく宿泊天文教室」 「太陽について知ろう！」	天体観察だけではなく、テーマに合わせた話や工作・実験などを交えて、奥深い天文の世界に触れる機会とした。 《定員各24人 参加①18人②18人③20人④18人⑤12人⑥18人⑦17人⑧15人⑨18人》	
令和4年 ① 4月16日（土） ② 5月21日（土） ③ 6月11日（土） ④ 7月2日（土） ⑤ 9月17日（土） ⑥ 10月1日（土） ⑦ 11月4日（金） ⑧ 12月3日（土） 令和5年 ⑨ 1月6日（金） ⑩ 2月18日（土） ⑪ 3月4日（土）	グラウンド・ゴルフ大会	グラウンド・ゴルフを通じて、自然とのふれあいや人々の交流の場を提供した。 《定員各50人 参加①48人②45人③49人④45人⑤57人⑥43人⑦54人⑧63人⑨54人⑩53人⑪61人》	
● 3月17日（金）	● チャンピオンシップ大会	1年の成果を確かめるために年間通算成績上位の方を対象にした大会を開催した。 《参加46人》	

◎活動体験事業（年間通じて申し込み）

開催日	事業名	内 容	SDGs 目標
令和4年 ① 5月22日（日） ② 7月10日（日） ③ 9月25日（日） ④11月27日（日） 令和5年 ⑤2月4日（土） ～5日（日）	アウトドアクラブ （全5回）	年5回の連続講座で、初回は火おこしなどのアウトドアの基礎を学び、ステップアップしながら最終回はキャンプ場で宿泊し、自立してアウトドア活動ができる内容とした。また、新企画につなげられるよう新たなメニューのモニターになっていただいた。 《定員24人 参加①24人 ②27人 ③26人 ④23人 ⑤27人》	
令和4年 4月5日（火）～ 令和5年 3月31日（金）	陶芸クラブ （全74回）	年間登録しているクラブ員が対象で、毎月6回程度設けた活動日に通年で陶芸に親しんでもらった。また成果を発表する機会として、秋のひろばにあわせて展示会を催した。 《クラブ員45人 延べ参加数792人》	

理事会・評議員会開催状況

(1)理事会

回数	開催日時	番号	件名
第1回	令和4年6月11日	議案第1号	令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	令和4年度第1回評議員会の招集について
		報告第1号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		報告第2号	令和3年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第3号	令和3年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
第2回	令和5年3月5日	報告第4号	令和4年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第5号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		議案第4号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		議案第5号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
		議案第6号	令和4年度第2回評議員会の招集について
第3回	令和5年3月23日	議案第4号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について(一部修正)
		議案第5号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について(一部修正)

(2)評議員会

回数	開催日時	番号	件名
第1回	令和4年6月26日	議案第1号	令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	監事の選任について
		議案第4号	評議員の選任について
		報告第1号	令和3年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第2号	令和3年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
第2回	令和5年3月26日	報告第3号	令和4年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第4号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		報告第5号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について

理事・監事・評議員名簿

(1)理事・監事名簿

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名
代表理事	杉本厚夫
業務執行理事	藤原千鶴
理事	新谷和久
理事	遠藤浩
理事	横川ひとみ
理事	西川治
監事	國谷和正
監事	井内徹

(2)評議員名簿

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名
評議員	中根光一
評議員	栢木廣和
評議員	森正子
評議員	小槌晶乃
評議員	安田修治

議案第2号

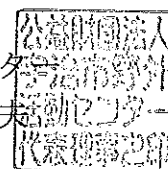
令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について

令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について、別紙
のとおり承認を求める。

令和5年6月25日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚 夫



令和4年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

決 算 報 告 書

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,660,290	21,198,592	△ 3,538,302
売掛金	4,540,939	0	4,540,939
未収金	237,518	309,388	△ 71,870
前払金	41,260	29,000	12,260
流動資産合計	22,480,007	21,536,980	943,027
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	38,703,159	35,404,690	3,298,469
電気陶芸窯取得積立資産	1,700,000	1,688,281	11,719
特定資産合計	40,403,159	37,092,971	3,310,188
(3) その他固定資産			
構築物	765,907	885,268	△ 119,361
什器備品	69,371	93,252	△ 23,881
その他固定資産合計	835,278	978,520	△ 143,242
固定資産合計	91,238,437	88,071,491	3,166,946
資産合計	113,718,444	109,608,471	4,109,973
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	21,941,992	19,961,253	1,980,739
預り金	235,556	1,575,727	△ 1,340,171
流動負債合計	22,177,548	21,536,980	640,568
2. 固定負債			
退職給付引当金	38,703,159	35,404,690	3,298,469
固定負債合計	38,703,159	35,404,690	3,298,469
負債合計	60,880,707	56,941,670	3,939,037
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	2,837,737	2,666,801	170,936
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,700,000)	(1,688,281)	(11,719)
正味財産合計	52,837,737	52,666,801	170,936
負債及び正味財産合計	113,718,444	109,608,471	4,109,973

正味財産増減計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,195	3,391	△ 1,196
事業収益			
指定管理料収益	113,920,937	56,978,958	56,941,979
受託事業収益	0	195,388	△ 195,388
利用料金収益	25,493,054	0	25,493,054
材料費収益	1,880,160	1,223,650	656,510
奨励事業収益	259,000	80,200	178,800
活動体験事業収益	3,128,390	1,471,420	1,656,970
その他自主事業収益	32,300	0	32,300
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	923,912	75,225,126	△ 74,301,214
雑収益			
雑収益	224,080	0	224,080
経常収益計	145,864,028	135,178,133	10,685,895
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	48,621,773	51,386,285	△ 2,764,512
臨時雇賃金	6,556,035	4,820,610	1,735,425
退職給付費用	3,133,546	2,827,123	306,423
福利厚生費	7,621,014	7,816,656	△ 195,642
食糧費	128,330	43,100	85,230
旅費交通費	2,044,162	1,933,800	110,362
通信運搬費	962,176	1,025,940	△ 63,764
減価償却費	143,242	143,242	0
消耗品費	5,036,605	3,544,153	1,492,452
修繕費	4,962,527	5,580,518	△ 617,991
印刷製本費	307,934	911,900	△ 603,966
燃料費	1,697,727	1,527,402	170,325
光熱水料費	12,916,474	9,140,213	3,776,261
賃借料	3,927,254	2,814,221	1,113,033
保険料	117,820	68,000	49,820
諸謝金	1,803,560	986,600	816,960
手数料	251,425	944,962	△ 693,537
委託費	34,112,385	34,432,272	△ 319,887

科目	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	1,277,700	1,466,100	△ 188,400
給料手当	1,924,651	1,822,917	101,734
退職給付費用	164,923	133,215	31,708
福利厚生費	243,810	233,453	10,357
会議費	3,192	3,292	△ 100
食糧費	10,250	2,300	7,950
報償費	10,000	0	10,000
旅費交通費	88,824	37,740	51,084
通信運搬費	132,793	147,604	△ 14,811
消耗品費	144,480	344,541	△ 200,061
広告料	44,000	44,000	0
保険料	160,090	167,650	△ 7,560
諸謝金	29,700	0	29,700
租税公課	7,085,900	224,600	6,861,300
負担金	21,200	0	21,200
手数料	7,590	29,040	△ 21,450
経常費用計	145,693,092	134,603,449	11,089,643
評価損益等調整前当期経常増減額	170,936	574,684	△ 403,748
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	170,936	574,684	△ 403,748
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	170,936	574,684	△ 403,748
一般正味財産期首残高	2,666,801	2,092,117	574,684
一般正味財産期末残高	2,837,737	2,666,801	170,936
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	52,837,737	52,666,801	170,936

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	2,195	0	0	0	2,195
事業収益					
指定管理料収益	101,298,502	1,273,332	11,349,103	0	113,920,937
利用料金収益	25,212,630	280,424	0	0	25,493,054
材料費収益	1,880,160	0	0	0	1,880,160
奨励事業収益	259,000	0	0	0	259,000
活動体験事業収益	3,128,390	0	0	0	3,128,390
その他自主事業収益	32,300	0	0	0	32,300
受取補助金等					
受取地方公共団体補助金	913,749	10,163	0	0	923,912
雑収益					
雑収益	224,080	0	0	0	224,080
経常収益計	132,951,006	1,563,919	11,349,103	0	145,864,028
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	48,016,523	605,250	0	0	48,621,773
臨時雇賃金	6,477,363	78,672	0	0	6,556,035
退職給付費用	3,097,263	36,283	0	0	3,133,546
福利厚生費	7,526,636	94,378	0	0	7,621,014
食糧費	128,330	0	0	0	128,330
旅費交通費	2,019,686	24,476	0	0	2,044,162
通信運搬費	950,696	11,480	0	0	962,176
減価償却費	143,242	0	0	0	143,242
消耗品費	5,019,129	17,476	0	0	5,036,605
修繕費	4,902,977	59,550	0	0	4,962,527
印刷製本費	304,239	3,695	0	0	307,934
燃料費	1,677,354	20,373	0	0	1,697,727
光熱水料費	12,761,476	154,998	0	0	12,916,474
賃借料	3,880,127	47,127	0	0	3,927,254
保険料	117,820	0	0	0	117,820
諸謝金	1,803,560	0	0	0	1,803,560
手数料	248,449	2,976	0	0	251,425
委託費	33,705,200	407,185	0	0	34,112,385

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
管理費					
役員報酬	0	0	1,277,700	0	1,277,700
給料手当	0	0	1,924,651	0	1,924,651
退職給付費用	0	0	164,923	0	164,923
福利厚生費	0	0	243,810	0	243,810
会議費	0	0	3,192	0	3,192
食糧費	0	0	10,250	0	10,250
報償費	0	0	10,000	0	10,000
旅費交通費	0	0	88,824	0	88,824
通信運搬費	0	0	132,793	0	132,793
消耗品費	0	0	144,480	0	144,480
広告料	0	0	44,000	0	44,000
保険料	0	0	160,090	0	160,090
諸謝金	0	0	29,700	0	29,700
租税公課	0	0	7,085,900	0	7,085,900
負担金	0	0	21,200	0	21,200
手数料	0	0	7,590	0	7,590
経常費用計	132,780,070	1,563,919	11,349,103	0	145,693,092
評価損益等調整前当期経常増減額	170,936	0	0	0	170,936
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	170,936	0	0	0	170,936
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前					
当期一般正味財産増減額	170,936	0	0	0	170,936
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	170,936	0	0	0	170,936
一般正味財産期首残高	2,666,801	0	0	0	2,666,801
一般正味財産期末残高	2,837,737	0	0	0	2,837,737
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	0	0	0	50,000,000
指定正味財産期末残高	50,000,000	0	0	0	50,000,000
III 正味財産期末残高	52,837,737	0	0	0	52,837,737

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	35,404,690	3,298,469	0	38,703,159
電気陶芸窯取得積立資産	1,688,281	11,719	0	1,700,000
小 計	37,092,971	3,310,188	0	40,403,159
合 計	87,092,971	3,310,188	0	90,403,159

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	38,703,159	—	—	(38,703,159)
電気陶芸窯取得積立資産	1,700,000	(0)	(1,700,000)	—
小 計	40,403,159	(0)	(1,700,000)	(38,703,159)
合 計	90,403,159	(50,000,000)	(1,700,000)	(38,703,159)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	1,193,616	427,709	765,907
什器備品	1,298,400	1,229,029	69,371
合 計	2,492,016	1,656,738	835,278

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	京都府	0	923,912	923,912	0	—
合計		0	923,912	923,912	0	

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は次のとおりである。

種類	法人等の名称	住所	資産総額(単位:円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(単位:円)	科目	期末残高(単位:円)
						役員の兼務等	事業上の関係				
当該公益法人を支配する法人	宇治市	京都府宇治市	—	—	—	—	宇治市総合野外活動センター管理運営業務の受託契約の締結	業務受託費の受取	113,920,937	—	—

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

業務受託費については、市場価格を勘案し一般的取引条件と同様に決定する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
	基本財産計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産	退職給付引当資産	35,404,690	3,298,469	0	38,703,159
	電気陶芸窯取得積立資産	1,688,281	11,719	0	1,700,000
	特定資産計	37,092,971	3,310,188	0	40,403,159

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	35,404,690	3,298,469	0	0	38,703,159

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
現金 普通預金 売掛金 未収金 前払金	現金	手元保管	運転資金として	555,732	
	普通預金	京都中央信用金庫 宇治支店	運転資金として	17,104,558	
	売掛金	宇治市	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する指定管理料収益	3,899,937	
		リクルートペイメント	公益目的事業及び収益事業等に関する利用料金収益	625,602	
		施設利用者	公益目的事業に関する利用料金収益	10,400	
		日本旅行	公益目的事業に関するその他自主事業収益	5,000	
	未収金	京都府	公益目的事業及び収益事業等に関する受取地方公共団体補助金	237,518	
前払金	(有)ホケン	公益目的事業に関する保険料	20,000		
	(社福)京都府社会福祉協議会	管理業務に関する保険料	9,500		
	小学館	管理業務に関する消耗品費	11,760		
流動資産合計				22,480,007	
(固定資産)					
基本財産					
定期預金	京都信用金庫本部		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,000,000	
	京都中央信用金庫石田支店			10,000,000	
	京都やましろ農業協同組合東宇治支店			10,000,000	
	京都銀行宇治支店			10,000,000	
大和ネクスト銀行				10,000,000	
	退職給付引当資産	普通預金	退職金の支払い財源として積み立てている		
普通預金	京都中央信用金庫 宇治支店			38,703,159	
電気陶芸窯取得積立資産	普通預金	公益目的事業の積立資産であり、特定資産取得資金として管理している		1,700,000	
京都中央信用金庫 宇治支店					
その他固定資産					
構築物	幼児向け遊具		公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	639,156	
	幼児向け遊具		公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	126,751	
	什器備品	ノートパソコン		公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
		ノートパソコン		公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
	七宝焼講習用電気炉		公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1	
	電気窯		公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1	
	冷蔵庫		公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	69,367	
固定資産合計				91,238,437	
資産合計				113,718,444	
(流動負債)					
未払金	役員		公益目的事業、収益事業等及び管理業務に従事する職員の給与等	2,701,010	
	京都南年金事務所		公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する福利厚生費	487,438	
	NTT西日本		公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する通信運搬費	29,234	
	フルカフスポーツ		公益目的事業に関する消耗品費	684,530	
	エディオン		公益目的事業に関する消耗品費	230,000	
	泉陶料		公益目的事業に関する消耗品費	4,450	
	城南教材		公益目的事業に関する消耗品費	220,391	
	大塚商会		公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	4,145	
	三井田商事		公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	31,253	
	内田工務店		公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費	846,780	
	近建ビル管理		公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	2,865,652	
	モクラボ		公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	653,400	
	キャンパルジャパン		公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	540,100	
	南山城複写センター		公益目的事業及び収益事業等に関する印刷製本費	307,934	
	小西商店		公益目的事業及び収益事業等に関する燃料費	49,280	
	晴喜商事		公益目的事業及び収益事業等に関する燃料費	231,000	
	関西電力		公益目的事業及び収益事業等に関する光熱水料費	1,121,098	
	小山商会		公益目的事業及び収益事業等に関する賃借料	280,412	
	ダスキン山城		公益目的事業及び収益事業等に関する賃借料	1,584	
	ボランティア		公益目的事業に関する諸謝金	125,400	
	宇治第一交通		公益目的事業に関する委託費	20,900	
	笠取ファーム		公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	1,905,511	
	アムス・セキュリティサービス		公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	29,480	
	堂坂ジェットクリーナー工業		公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	1,377,229	
	京都保健衛生協会		公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	38,200	
	日本郵便		管理業務に関する通信運搬費	60,735	
	KDDI		管理業務に関する通信運搬費	5,386	
	朝日ネット		管理業務に関する通信運搬費	7,128	
	正美堂		管理業務に関する消耗品費	34,332	
	宇治税務署		管理業務に関する租税公課	7,048,000	
	預り金	役員		本人負担分社会保険料及び所得税	235,556
	流動負債合計				22,177,548
	(固定負債)				
退職給付引当金	職員		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	38,703,159	
固定負債合計				38,703,159	
負債合計				60,880,707	
正味財産				52,837,737	

監査報告書

令和5年5月25日

公益財団法人宇治市野外活動センター
代表理事 杉本 厚夫 殿

公益財団法人宇治市野外活動センター

監事 國谷和正

監事 井内徹

私たちは、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度における会計及び業務の監査を行った。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録の適正性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録が公益財団法人宇治市野外活動センターの財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告は法令又は定款に従い公益財団法人宇治市野外活動センターの状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認める。